３学年　学年通信　No.９　　令和６年　２月　２６日

勇往邁進

公立一次選抜に向けて

公立一次選抜に向けて，各教科で試験対策を行ってきました。過去の入試問題に挑戦したり，基本的な知識を確認したり，学年一丸となって取り組んできましたね。

いよいよ，明日は本番です。今日は，持ち物の確認をして，各教科の最終チェックを行い，明日に備えて早く眠りましょう。

１日目は，学力試験５教科＋自己表現カードの記入の長丁場です。一日で５教科の試験を行うことは，これまでの実力試験で練習してきましたが，緊張感の中で行われる５教科の試験は非常に体力を消耗すると思います。最後まで集中力を切らさず，あきらめずに落ち着いて問題に取り組みましょう。

帰ったら，「自己表現」のリハーサルをして，最終チェックをしましょう。準備物や次の日の移動経路，家を出る時間を確認して，睡眠をしっかりとりましょう。

公立一次選抜で一番心配なことは，実は１日目よりも２日目です！

「自己表現」の集合時間は，高等学校ごとに受験番号でそれぞれ違います。ある高等学校では，１番の集合時間が８：３０，遅い人が１５：００です。１日目で疲れて遅刻することがないよう要注意です。遅い集合時間の人でも中学校の登校時間に合わせた生活リズムで，時間に起きて，食事をとることを意識しましょう。家を出る時間や交通機関の時間は，要チェックです。絶対に友達にたよらないこと。入試は，すべて自分の責任です。２日目の試験も全力で乗り切りましょう。先生たちみんなで，よい結果がでるよう祈っています！

１日目のポイントは，６時間をどう乗り切るか
自分のベストを尽くす！集中力を切らさない！
最後まであきらめない！

広島県の入試問題難易度は全国一！ できない問題があっても当たり前です。
あなたのまわりの受験生の力は同じくらいです。気持ちを切らさず頑張りましょう！

2日目「自己表現」は，“10 分間の緊張感と集中力！”

緊張することは，決して悪いことではありません。本番には，緊張感と集中力が必要です。そして，大切なのが“自信”です。練習通りの１００点満点の出来であれば素晴らしいですが，本番の出来は７０％で良しです。失敗しても，すぐ次のことを考えましょう。立ち直りこそが大切です。面接官の質問をよく聞いて，落ち着いて答えましょう。すべてが終わるまで，集中力を切らさないようにしましょう！

CHECK！

☆「入学者選抜実施要項」と各高等学校の「入学者選抜実施要項（学校版）」を必ず両方事前に確認しましょう。

検査場内への携行品（持ち込みができるもの）について，各学校で独自の携行品がもうけられている場合があるので，必ず学校版で確認しましょう。各校共通の携行品は以下の通りです。

受験票のほかに，検査場内の各自の席に持ち込みができるものは，次の①から⑥の物品のみです。

① 鉛筆，シャーペン
② 鉛筆削り
③ 消しゴム
④ 定規（分度器のついたものや三角定規は不可）
⑤ 時計（スマートウォッチ等の辞書や計算や端末等の機能があるものは不可）
⑥ ティッシュ（袋または箱から中身だけ取り出したもの）

上記の ①～⑥以外のものを持ち込まないようにしましょう。
不正行為かどうかを判断するのは高校です。これぐらい良いだろうと安易に判断しないこと。
不正行為と見なされた場合は，試験が受けられず，不合格になってしまいます。

☆ ２日目の「自己表現」の集合時間は，各高等学校のホームページに掲載されています。必ず自分で確認しましょう！

確認したら ２ 日目の家の出発時間や交通機関の時間を調べましょう。余裕を持って家を出るようにしましょう。自己表現に使うものを忘れないように気をつけましょう。

☆上履きが必要な学校があります。１日目は，昼食が必要です。

保護者の皆様

いよいよ公立高等学校の一次選抜が始まります。１日目は，学力試験５教科と「自己表現カード」の記入で６時間の長丁場です。２日目は，「自己表現」の実施があります。集合時間も各高等学校・受験番号で異なります。緊張感を緩めることなく無事に入試を乗り切ってもらいたいと思います。ご家庭でも是非子どもたちへの応援と健康管理をお願いします。特に，１ 日目は相当疲れて帰ってくると思います。２ 日目は，気持ちを切り替えるよう元気よく送り出してください。私たちも，よい結果が出るよう応援しています。

１日目の２月27日（火）は，昼食が必要です。準備をよろしくお願いします。

【重要です！】　私立高等学校の一般・専願入試とも期日までに「一次手続金」の納付をお願いします。特に専願入試については，「一次手続金」の納付までが条件です。ご多用とは思いますがよろしくお願いします。